

目 次

巻頭言 法教育に関する私の原点

鈴木 啓文 1

第1編 論 考

- [研究論文] 米国における対立解決教育の歴史的展開
——第二期（変容期） 齋藤 宙治 5
- 公共的に「法」を考える教室空間の創造
——哲学対話を用いた法教育の実践を手がかりに 得居 千照 17
- [実践報告] 法学部生による法教育実践の一例
——現状の紹介と展開可能性 山口 敬介 29
- 地域社会における模擬裁判員裁判
「コミュニティ・コート」の意義と課題
宮崎 秀一, 平野 潔, 飯 考行 39
- ルールの多面的な機能の理解につなげる法教育授業実践研究
——小学生が遊びのルールを「作る・使う・作り変える」活動
を通して 野寄 雄太 49
- 京都教育大学附属高等学校における高校生模擬裁判選手権の指導
実践 ——京教モデル方式の提案 札埜 和男 59
- 特別支援学校における選挙学習の主権者教育への発展可能性
——観察と質問紙調査を通じて 坪井 龍太 69
- 法学部の講義科目における民事模擬裁判の実践
——学生による証人尋問と弁護士による証人尋問を併用した
模擬裁判の実践例 山本 真 79
- 「理想の村づくり」陶淵明「桃花源記」を用いた弁護士との共同授業
田山地 範幸 89

第2編 大会記録

〔基調講演〕	公共性とは何か ——公共性概念の陥穽からの脱却	井上 達夫	99
〔パネルディスカッション〕	新科目「公共」と法教育		121
	パネリスト：斎木 英範, 野坂 佳生, 樋口 雅夫		
	司 会：村松 剛, 中原 朋生		

第3編 学会通信

書評・図書紹介	139
法と教育学会規約	144
「法と教育」編集規程	146
「法と教育」投稿規程	146
「法と教育」執筆要領	147

※第2編におけるパネリスト等の所属・肩書は2017年9月時点のもの
その他, 本誌における執筆者の所属・肩書は2018年3月時点のもの